

対象患者：小細胞肺癌
レジメン名：タルラタマブ(初回)
1コースの日数：28日

催吐性リスク：分類なし(メーカー回答)
血管外漏出リスク
タルラタマブ：報告なし

Rp.	抗がん剤名 (溶解液、支持療法も含む)	標準投与量	投与方法	投与ルート	投与時間	day								
						1	～	8	～	15	～	22	～	28
1	デキサメタゾン 生理食塩液	6.6mg 50mL	点滴静注	メインルート	30分	○		○						
2	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○		○		○				
3	タルラタマブ 生理食塩液	1mg/body(1回目) 10mg/body(2回目以降) (250-投与量)mL	点滴静注	メインルート	1時間	○		○		○				
4	生理食塩液	500mL	点滴静注	メインルート	2時間	○		○		○				
5	生理食塩液	500mL	点滴静注	メインルート	2時間	○		○		○				

点滴順序(day1,8)：Rp1→2→3→4→5
点滴順序(day15)：Rp2→3→4→5
投与時間(day1,8)：5時間30分
投与時間(day15)：5時間

備考：

少なくとも1日目および8日目は、投与開始から24時間は必ず入院管理とする。

サイトカイン放出症候群(CRS)および免疫エフェクター細胞関連神経毒性症候群(ICANS)が投与初期に多く認められる(院内マニュアルを参照)。

副作用等の理由による休薬後に再開する場合は、下記の通りに行う。

- ・最終投与日が1日目(1mg/body)

休薬期間が14日以内の場合、再開時は8日目の投与量(10mg/body)

休薬期間が14日を超える場合、再開時は1日目の投与量(1mg/body)

- ・最終投与日が8日目(10mg/body)

休薬期間が21日以内の場合、再開時は15日目の投与量(10mg/body)

休薬期間が21日を超える場合、再開時は1日目の投与量(1mg/body)

- ・最終投与日が15日目以降(10mg/body)

休薬期間が28日以内の場合、再開時は29日目以降の投与量(10mg/body)

休薬期間が28日を超える場合、再開時は1日目の投与量(1mg/body)